

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	農業理解促進事業		
事業担当	経済部 農水産課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'01	1 市民が身近に感じられ、生活に密着した産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他 】 【協働： 生産農家 】		
目的・目標		事業の概要	
農業体験、生産者との交流事業などの開催により、生産者と消費者のふれあいの創出と地域経済の活性化が図られ、農業に対する理解と認識が深まっています。		農業理解を深めるため、農業体験、生産者との交流事業、地場製品のPRイベントなどを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地産地消に向けたイベント開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	4	4	4	6	
	実績	4	7	8		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	生産者・生産者団体が設置する直売施設(直売所)数			単位	か所
	説明・算定式	JA支所併設の直売を始め、個人設置の直売所数により地場製品の販売状況を示す。(平成23年度まで)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標	32	32	32		
	実績	32	32	32		
成果指標②	指標名	農産物直売所販売額(年間)			単位	千円
	説明・算定式	JA支所併設の直売所や大型直売所における年間販売額により、地場製品の消費拡大の状況を示す。(平成24年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標				587100	
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成23年度の主な取組と成果						
農業体験、収穫祭、即売会、花育イベントを開催し、生産者と消費者が直接ふれあう機会を創出しました。このことにより、農業に対する理解と認識が深まり、地産地消の推進に寄与しました。また、「湘南ひらつかフラワーシティ」や「春の花き展」などのイベントには多くの来場者が訪れました。						
平成23年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	イベントへの来場者、参加者の反応は良く、市民ニーズが高いため必要な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	農業体験では、毎回参加者が異なり継続的に実施することにより、多くの市民の満足度を高めることができ有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	農業体験学習では、傷害保険料及び諸費用として、参加費を徴収しており、受益者負担の観点から妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	フラワーイベントでは、生産者に輪番制で、準備・片付け・園芸相談員として協力をいただきました。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		イベントへの多くの参加者を得るために、より一層のPR活動を行う必要があります。また、イベントを継続することにより、市民に対する認知度を向上させる必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		PRイベントの開催、新支援制度の施行など	PRイベントの開催、新支援制度の施行等	PRイベントの開催、新支援制度の施行等	農業体験、生産者との交流事業、地場産品のブランド化やPR
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	550	776	891	1,920
事業費 (A)		550	776	891	1,920
執行率 (%)		52.23	77.60	79.98	
内訳	職員 (人)	1.45	1.52	2.26	2.23
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		12,117	12,554	18,316	17,874
フルコスト (A+B)		12,667	13,330	19,207	19,794

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	農業体験学習は、参加者から負担金を徴収し、市民ニーズにあった効率的・効果的な運営の継続をしていきます。
課長コメント	関係団体等と連携しながら各種イベントを開催することにより、農業に対する市民の理解を深めることができました。引き続き、関係機関・団体等との連携を強化しながら効果的に事業を展開していきます。